

2024 年度

三池貿易振興会  
総会

議案書

(1)第1号議案	2023 年度 事業報告	P 1
(2)第2号議案	2023 年度 収支決算報告	P 5
(3)第3号議案	2024 年度 事業計画(案)	P 8
(4)第4号議案	2024 年度 収支予算(案)	P10

2024 年7月

## (第1号議案)

# 2023 年度 事業報告

## I. 大牟田有明海地域の貿易の動向について

2023 年度は、コロナ禍による国際物流市場の混乱や、資材・燃料費の高騰、さらには、荷主の多くが輸入事業者である三池港にとって円安による影響を大きく受けた1年であった。

このような中、三池港での取扱貨物量は 2023 年(暦年)実績で、約 217 万トン、前年比約 9 万トンの増加となった。主に三池港隣接地にあるバイオマス発電所の燃料である薪炭や化学薬品の輸入が増加していることが要因である。

しかしながら、三池港の国際コンテナ取扱貨物量は、2023 年(暦年)実績で 6,691TEU、前年比約 32%の減少となり、輸出入とも前年を下回ることとなった。

当会は、新規航路誘致を重点課題とし、「マイポートみいけ利用促進協議会」と連携して 5 年ぶりに韓国船社へのトップセールスを行うとともに、新規航路の開設を行った運行船社に対する助成制度の創設、さらに、フォワーダー(貨物利用運送事業者)への助成制度も創設する等、三池港の利用促進を図る取組みを行った。

## II. 事業状況

### 1. 貿易振興

#### (1) 企業訪問活動(ポートセールス)

マイポートみいけ利用促進協議会と連携して三池港背後圏地域の荷主企業や関係団体等への訪問活動を行った。また、東京・大阪地区の荷主企業や船社とともに、2023 年度に創設した集荷助成制度の周知のため、フォワーダーや商社への訪問に加え、物流における 2024 年問題への対応及び三池港の利便性向上のため、国際フィーダー航路の誘致活動のための意見交換を実施した。

#### 国際フィーダー航路

海運において「フィーダー航路」とは、基幹航路に対して支線の役割を担う航路。基幹航路の寄港する主要港とその他の港を結び、外貿コンテナの 2 次輸送を担っている。

このうち、国内の主要港で基幹航路に接続するフィーダー航路を「内航フィーダー航路」と呼んでいる。さらに、「内航フィーダー航路」のうち、国際コンテナ戦略港湾(阪神港・京浜港)と国内各港を結ぶ内航フィーダー航路を「国際フィーダー航路」と呼ぶ。

○訪問件数:延べ 393 件/194 社・団体

○三池港国際コンテナ航路利用荷主数:74 社/内新規荷主 23 社

#### <東京地区>

①訪問日:2023 年 7 月 13 日(木)~14 日(金)

訪問先:フォワーダー5 社、船社1社

②訪問日:2023 年 10 月 18 日(水)~20 日(金)

訪問先:荷主企業、フォワーダー1 社、船社 2 社

③訪問日:2024 年 2 月 15 日(木)

訪問先:フォワーダー1社、船社1社

<大阪地区>

①訪問日:2023年7月6日(木)~7日(金)

訪問先:フォワーダー7社

②訪問日:2024年1月30日(火)

訪問先:荷主企業、国際フィーダー船社1社

③訪問日:2024年2月14日(水)

訪問先:荷主企業、国際フィーダー船社1社

●フォワーダー訪問先 12社

伊藤忠ロジスティクス(株)、ケイラインロジスティクス(株)、  
(株)LOTOS CORPORATION、エムジェイロジスティクスジャパン(株)、  
(株)近鉄エクスプレス、三川(株)、ガイアシッピング(株)、  
(株)ノーヴァンシッピング、(株)リライロジスティクス、  
(株)アルファグローバルロジスティクス、陽光海運(株)、誠信海運(株)

●船社訪問先 2社

(株)シノコー成日本総代理店、インターエイシアライン(株)

●国際フィーダー船社 2社

オリेंट オーバーシーズ コンテナライン リミテッド 神戸支店、井本商運(株)

(2)日本貿易振興機構(ジェトロ)福岡貿易情報センターとの情報交換

訪問日:2023年5月18日(木)

場 所:日本貿易振興機構福岡貿易情報センター(福岡商工会議所 7F)

(3)貿易情報等の配信

マイポートみいけ利用促進協議会が実施する補助金等の情報など情報発信を行った。

(4)貿易相談

三池港の集荷拡大及び貿易に関する照会や問い合わせに対しては、関係機関と調整し対応に努めた。

## 2. 貿易基盤整備の促進

(1)三池港に関連する港湾施設等の整備促進

利用荷主の意見を集約し、他港の整備状況を確認しながら福岡県へ整備促進を要望した。

(2)コンテナ船社サービスの向上

マイポートみいけ利用促進協議会と連携し、取扱貨物量減少の危機的状況の回復のため、5年ぶりとなる韓国船社へのトップセールスを行い、週2便化や海上運賃の引き下げ、サービスエリアの拡大等の意見交換を実施した。

○(株)シノコー成日本総代理店

訪問日:2023年7月13日(木)、10月19日(木)、  
2024年2月15日(木)

○興亜 LINE(株)本社(ソウル)・釜山支社

訪問日:2024年1月24日(木)・1月25日(金)

### (3)入出港基準の規制緩和

大型コンテナ船の定期就航化に不可欠な夜間出港などの規制緩和に向け、マイポート  
みいけ利用促進協議会と連携し、港湾管理者である福岡県へ要望した。

## 3. 調査

### (1)三池港の港湾取扱い貨物に関する調査と分析

### (2)三池港背後圏の貨物動向を調査

### (3)九州貿易協会連絡協議会へ出席

九州貿易協会連絡協議会に参加し、情報交換を行った。

○開催日:2024年1月18日(木)

場 所:福岡商工会議所ビル3階 306 会議室(福岡市)

### (4)三池港港湾脱炭素化推進協議会に出席

三池港におけるカーボンニュートラルポート形成に向けた協議会に出席した。

○開催日:2024年3月26日(火)

○場 所:福岡県大牟田総合庁舎2階大会議室

### (5)日本関税協会

日本関税協会主催のセミナーに参加した。

○日本関税協会「経済連携協定の原産地規則説明会」

開催日:2023年5月16日(木)

場 所:大牟田商工会館 3F ホール

○日本関税協会長崎支部「MOU 密輸防止連絡会」

開催日:2024年3月27日(水)

場 所:三池税関支署

### (6)三池港の機能強化と地域にもたらす効果に関する検討会に出席

三池港の役割の情報発信についての検討会に出席した。

○第1回 開催日:2023年10月23日(月)

場 所:鉦山ビルディング 2階会議室(大牟田市)

○第2回 開催日:2024年2月1日(木)

場 所:国土交通省 九州地方整備局

博多港湾・空港整備事務所 4階大会議室(福岡市)

(7) 苅田港の視察

訪問日: 2023年4月17日(月)

(8) 釜山新港の視察

訪問日: 2024年1月25日(金)

(9) 熊本県ポートセミナーへの参加

参加日: 2024年1月29日(月)

場 所: 神戸ベイシェラトンホテル&タワーズ(兵庫県神戸市)

4. 会議関係その他

(1) 会議関係

○ 常任理事会及び総会

総会当日有明圏域が災害級の豪雨に見舞われたため、実開催を中止し、書面開催した。

・ 常任理事会議決 7月18日

・ 総会議決 8月8日

(2) 企業訪問時に三池港関連イベント情報を発信し、三池港のPRを行った。

① 三池貿易振興会オリジナルメモ帳の作成・配布

② 三池港関連イベント情報及び市の事業等フライヤーを持参

(3) 三池港周辺清掃活動に参加した

○ 主 催: NPO法人未来のまちづくり会

三池港有明地区振興会

信号電材(株)

○ 開催日: 2023年10月27日(金)

(4) SEMICON JAPAN2023への参加

半導体メーカーが集結する展示会に、大牟田市進出企業と連携して三池港及び大牟田市の広報活動を行った。

○ 参加日: 2023年12月13日(水)~15日(金)3日間 (来場者数 延べ85,282人)

○ 場 所: SEMICON JAPAN2023 東京ビックサイト会場

(第2号議案)

## 2023年度 収支決算報告

(1)一般会計収支決算報告

○収 入

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	差引増減額	備 考
(1)市負担金	200,000	200,000	0	
(2)雑収入	982	1	▲981	
(3)繰越金	168,018	168,018	0	
(4)繰入金	0	0	0	
計	369,000	368,019	▲981	

○支 出

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	差引増減額	備 考
(1)貿易振興対策費	309,000	284,419	24,581	
1 貿易促進費	309,000	284,419	24,581	
2 負担金	0	0	0	
(2)会議費	60,000	9,620	50,380	
計	369,000	294,039	74,961	

2023年度	総収入額	368,019円
2023年度	総支出額	294,039円
差引残高	(次年度への繰越金)	73,980円

(2)特別会計収支決算報告

○収 入

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	差引増減額	備 考
(1)繰入金	0	0	0	
(2)繰越金	331,212	331,212	0	
(3)雑収入	788	2	▲786	利息
計	332,000	331,214	▲786	

○支 出

(単位:円)

項 目	予算額	決算額	差引増減額	備 考
(1)繰出金	0	0	0	
計	0	0	0	

2023 年度	総収入額	331,214 円
2023 年度	総支出額	0 円
差引残高	(次年度への繰越金)	331,214 円

## 監査結果報告書

私たち監事は、2023年度三池貿易振興会の事業の執行及び会計の状況を監査しました。

事業の執行状況については、関係帳票の確認を行い、必要に応じて説明を求めました。収支決算については、帳簿及び証拠書類の確認を行い、必要に応じて説明を求めました。

以上の監査の結果、事業報告は事業の執行状況を正しく示しています。

収支決算報告書は、収支の状況を正しく示しています。加えて資金の管理は、適正に行なわれていることを確認いたしました。

2024年6月6日

三池貿易振興会会長 様

三池貿易振興会

監事

吉田和彦

監事

前田剛志

## (第3号議案)

# 2024年度事業計画(案)

## I. 現状と事業方針

大牟田有明海地域では、有明海沿岸道路の整備が進む中、三池港の物流アクセスが格段に向上している。更に、三池港における大型コンテナ船の夜間出港基準の見直しに向けた協議が進められている。

物流業界では2024年問題による運転手不足、配送量の減少、物流コストの増加が懸念されている。一方、カーボンニュートラル達成のため、企業の脱炭素化への取組みも進められていくことから、貨物輸送のモーダルシフト(環境負担の少ない鉄道、船舶等の輸送手段への転換)が加速していくことが予想される。

こうした状況のなか、大牟田有明海地域の貨物を三池港に取り込むチャンスと捉え、企業・荷主へのポートセールスを進め、「マイポートみいけ利用促進協議会」と連携した取組みにより、三池港利用に繋げていく必要がある。モーダルシフトを進めていくためにも、国際フェーダー航路の誘致に最優先で取り組む。

以上を踏まえ、大牟田有明海地域の持続的な経済発展に寄与できるよう、今年度は次の事業を実施する。

## II. 実施事業

### 1. 貿易振興

#### (1)三池港利用の企業訪問

国際コンテナ及びバルク貨物等の三池港利用荷主に対する、継続利用と利用拡大のためのポートセールスを適時行う。

#### (2)新規企業訪問

三池港の更なる利用促進のため、引き続き、マイポートみいけ利用促進協議会、大牟田市、大牟田商工会議所、物流関係者等との連携を強化し、他港を利用する荷主企業への訪問活動を行う。また、有明海沿岸道路の沿線に点在する利用荷主企業には、有明海沿岸道路による三池港へのアクセス向上を強調し、三池港利用のメリットを周知することで、コンテナ貨物取扱品目の増加、輸出貨物、冷凍・冷蔵貨物を増やす取組みに注力する。

#### (3)マイポートみいけ利用促進協議会との連携強化

同協議会の構成団体として連携を強化し、更なる三池港の集荷拡大に向けて荷主企業や船社を対象に三池港のPRに努める。

#### (4)貿易相談

貿易実務のアドバイス及びビジネスマッチングできる事業者を紹介する。

#### (5)経済セミナー等

各種セミナーや講座について情報提供を行う。

### 2. 貿易基盤整備の促進

#### (1)三池港に関連する港湾施設等の整備促進

荷主企業などの意見を集約し、福岡県へ整備促進を要望する。

#### (2)コンテナ船社サービスの向上

直行便、航路増便、航路範囲拡大等を、コンテナ船社・日本代理店に要望する。

#### (3)三池港取扱貨物や本船入出港に関する規制緩和

「マイポートみいけ利用促進協議会」と連携し、規制緩和に向けた検討を福岡県へ要望する。

#### (4)新規航路誘致に向けた取組み

「マイポートみいけ利用促進協議会」と連携し、新規航路誘致のための情報収集及び国際フィーダー航路誘致のため船社に対して積極的なポートセールスを行う。

### 3. 調査

(1)三池港の港湾取扱貨物に関する調査と分析を行う。

(2)三池港背後圏の物流貨物動向を調査する。

(3)九州貿易協会連絡協議会に参加し、各団体の貿易促進取組を調査する。

(4)日本関税協会が主催するセミナー等に参加する。

(5)他港視察及び他港ポートセミナーに参加し、他港の貿易促進策を調査する。

### 4. 会議関係その他

(1)総会、常任理事会を開催する。

(2)企業訪問時に三池港関連イベント情報を発信し、三池港のPRを行う。

(第4号議案)

2024年度 収支予算(案)

(1)一般会計収支予算

○収入

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	差引増減額	備考
(1)市負担金	200,000	200,000	0	
(2)雑収入	20	982	△962	利息 (端数調整)
(3)繰越金	73,980	168,018	△94,038	
(4)繰入金	76,000	0	76,000	特別会計より
計	350,000	369,000	△19,000	

○支出

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	差引増減額	備考
(1)貿易振興対策費	290,000	309,000	△19,000	
1 貿易促進費	290,000	309,000	△19,000	
2 負担金	0	0	0	
(2)会議費	60,000	60,000	0	
計	350,000	369,000	△19,000	

## (2)特別会計予算

### ○収 入

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	差引増減額	備考
(1)繰入金	0	0	0	
(2)繰越金	331,214	331,212	2	
(3)雑収入	786	788	△2	利息 (端数調整)
計	332,000	332,000	0	

### ○支 出

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	差引増減額	備考
(1)繰出金	76,000	0	76,000	一般会計へ
計	76,000	0	76,000	